

2025年1月 ゴミ収集パイプライン利用者の会 報告(回覧用)

現在配布している年次報告書の主な目的は、パイプライン利用者にパイプラインの運用状況、課題、啓発活動、財務状況などの情報を共有するために毎年発行しているものです。今回7500部印刷し、パイプライン利用者には全戸配布予定です。また、芦屋浜・南芦屋浜地区に新しく住まわれる方にも市役所の窓口で配布をしております。

この年次報告書を読まれて、現在のパイプラインの状況をご理解いただけると幸いです。皆様のご協力をお願いします。

なお、年次報告は要約すると、

1. パイプラインの現状と課題

- ・ パイプラインの老朽化が進み、穴や亀裂、雨水の浸入による吸引力の低下が懸念されています。
- ・ 不適切なごみの投入により破損や詰まりが発生しています。

2. 現状への対応と目標達成

- ・ 年間コスト 2 億 6 千万円の上限内で維持管理を実施しています。
- ・ CO2 排出量削減目標(16%減)を達成。
- ・ コスト削減(過去 5 年間で約 2 億 5 千万円)や環境改善で成果を上げています。

3. ごみ減量と適切な利用の呼びかけ

- ・ ごみ分別や指定袋の使用を促進するための啓発活動を強化。
- ・ 不適切な投入口利用防止に向けた注意喚起と新しい運転方法を試行。

4. 新しい運転方式と成果

- ・ 2024 年 10 月以降、新たな運転方式を正式採用し、吸引効率の向上と CO2 削減を両立。
- ・ 試行期間中に電力使用量を 12%削減。

5. 今後の課題

- ・ 維持管理費の効率的な予算管理の必要性。
- ・ 人口減少や世帯構成の変化への対応。
- ・ 利用者マナー向上のさらなる推進。

結論

パイプラインの維持と効率化、環境への配慮を通じて、持続可能な街づくりを目指します。市民と行政の連携が引き続き重要となります。

